



2013年8. 9月勉強会です!



長く支えるために何が必要か？

—いわゆる「神経難病」の病態とケアを学ぶ—

経過が長く、さまざまな身体機能が低下する可能性のある「神経難病」。勿論排泄障害とは非常に縁が深い疾患といえるでしょう。パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、ALS、多発性硬化症といった疾患は、以前であれば病院などの施設で長期に療養するケースも多かったことと思いますが、最近では在宅でのケアも広がってきており、皆さんがかかわる場面も増えてきているのではないのでしょうか？

症例によっては若い年代、あるいは働き盛りの年代から長い経過をとられることもあるこれらの神経疾患についての、疾患としての全体像、生活支援の実際、そして排泄ケアについて学んでみましょう。

【日時・場所】

8月18日(日)(第三日曜日)

9月28日(土)(第三土曜日) いずれも13時半～16時半
名古屋大学医学部臨床研究棟(1号館) 地下会議室(裏面地図参照)

【講師】

饗場郁子先生

国立病院機構 東名古屋病院 神経内科 リハビリテーション部長

コメンテータ・岡村菊夫先生

国立病院機構 東名古屋病院 泌尿器科 臨床研究部長

***みなさんの職場のお仲間もたくさんお誘い合わせてきてください。**

- ・ 会員は勉強会参加に関しては、何度の受講においても無料です。
- ・ 非会員の方でも1000円で聴講が可能です。